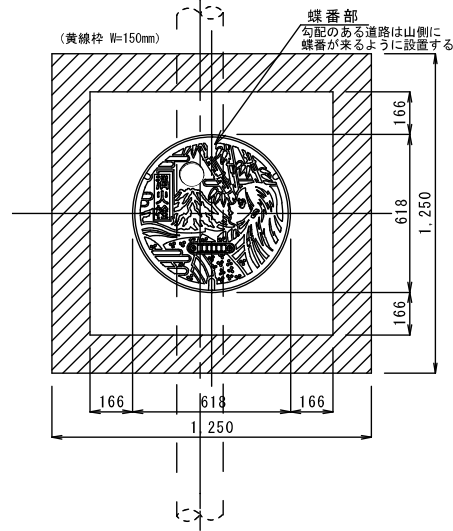
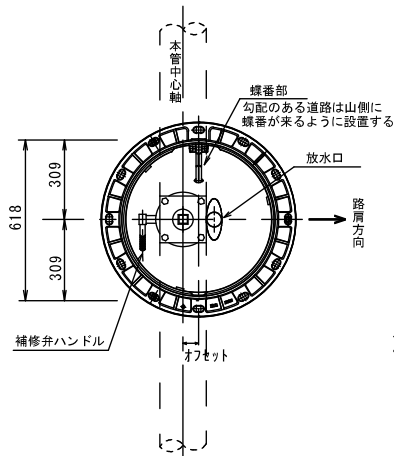


富士市消火栓規格及び施工方法基準

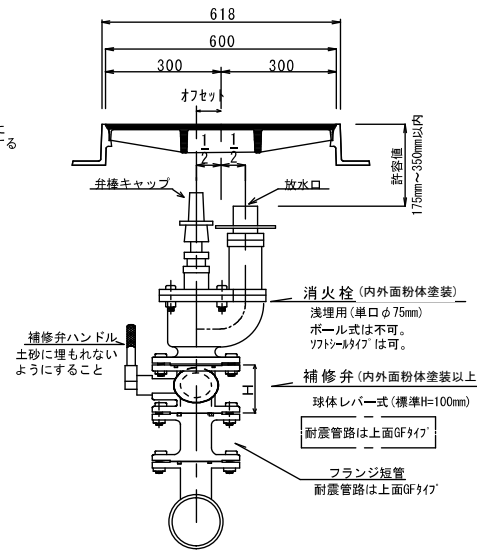
平面図



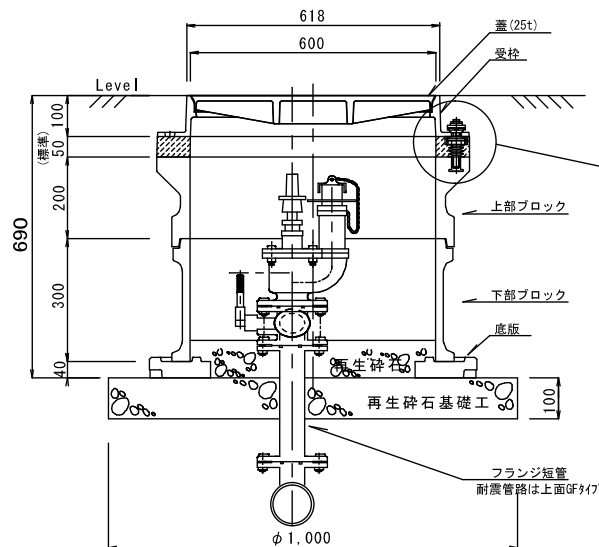
配置図



組立図

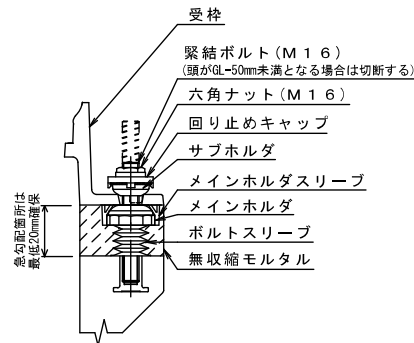


横断面図



調整部詳細図

(無収縮モルタル及び調整脚)



●丸型消火栓室の組立注意事項●

1. 鉄蓋及び受枠以外はレジンコンクリート製品である為、取扱いは十分注意する。
2. 補修弁ハンドル位置は消火栓放水口の反対側とし、道路中心側とする。
3. 鉄蓋の蝶番部が管軸線上となるように設置する。
(勾配のある道路は山側に蝶番が来るように設置する)
4. 弁室内埋戻しは、補修弁下フランジ頂部まで再生砕石で施工する。
5. 道路勾配等により、消火栓室設置に支障がある場合は監督員と協議する。
6. 下樹と受枠とのセットボルトの締め付けは、レンチ等で3ヶ所均等に締付ける。
7. 施工中は仮蓋を使用することとし、本舗装完了後に新品を設置すること。
8. 調整部については、別紙施工手順に沿って行うこと。
9. 弁棒キャップ芯と放水口との中間を消火栓室の横断方向の中心とする。
縦断方向については弁棒キャップ芯を消火栓室の中心とする。
10. 無収縮モルタルの標準施工厚50mmを超える場合は1袋で不足して打継ぎとならないように注意すること。

平成28年度改訂版